

7/28

本日 沖縄問題日米会談粉碎

京都五に決起せよ!

2.4沖縄ゼネスト連帯市大スト

了了、沖縄問題日米京都
会議は何をめぐすか

本日(27)日迄、3日間、京都回廊会館で「沖縄侵
び了了」に関する日米京都会議が開かれる。この会議
は、形式的には日米民間人による了了、沖縄問題に
関する会議という形態をとっているが、米側の出席者
マックスウェル・テイラー(防衛戦略分析研究所長)、
ポール・バーク元日連大使などはニクソン新大統領の
ブレーンであり、日本側からも首相の諮問機関である
「沖縄問題懇談会」座長の大浜信忠と大野良英(元防
衛庁総務長)高坂正典等の佐藤のブレーンであり、中
保堅持派の「知識人」とも出て来る。

この会議は、實質的に、67年の「日米共同声明」の線
にぞつての、ニクソン、佐藤の細い意思統一の場とい
えるだろう。

ニクソンは就任早々、横濱への原潜の寄港、沖縄
の治安維持法日米合意の公布という挑戦を我々
にびけてきた。そして、佐藤も又、今年の最重要課題
として沖縄、安保、大学を指定し、下田駐米大・使、愛知外相の発言にみら
れるように沖縄の核付を返還をめぐしてはつきりさせた。

大学についても、全日学闘争に治安維持法の観点から取組み、校警隊導入
等の強制的な介入を行なっている。

このような、新年早々の佐藤・ニクソンの動向から明らかのように、この
会議では、ベトナム戦後の反共冷戦体制の要めとしての沖縄の重要性を確認
しめよう。それは沖縄をキーストンとしての70年安保の反動的強化によ
るアジア人民抑圧の道であり、沖縄をも含めた日本人民抑圧の70年代への道
である。

本日、全関西青年学生総決起集会に
参加し、2.4沖縄ゼネスト連帯、市大
教養ストに起ち上げられ

我々は、昨年の4、26、6、15、10、21の闘争の過程を正しく沖縄問題を
70年安保破壊闘争の環として設定しきつてきたものとして、断固以上の
ような企図をもった会議を許すことはできない。

学生諸君の今回の、4沖縄全県ゼネスト連帯、市大教養ストの圧倒的
な成功を待ちしめることを心に刻みつつ、今回の会議を粉砕すべく、共に起
ちあげよう。

統一会議の無責任な対応を批判する

統一会議は昨日(27)日教養ストを提起した。我々は土曜日からでも十分に提
起ができたことを自信に批判することにも、学生大会要求書を面し学
生に最大限の責任を押しつけた。しかもに統一会議はこのような努力をい
つと放棄した。これは我々の責任である。

最新ニュース